

中齋塾東京フォーラム  
平成 31 年度 第 2 回講話

平成 31 年 2 月 9 日  
於 湯島聖堂

雪の中を大変ご苦勞様です。思っていたより人数が多い。…いつ何どき回ってくるか分かりませんから、チンベル（小さい鐘）は意識して心を静めて鳴らしてください。なるべくゆっくりと穏やかに、これは太極拳でも同じですよ。空手の型も同じですよ。力づくで突いて戻すというよりじわっと戻る。

2 月 7 日は北方領土の日です。毎年決められた日に招待されるので行きます。私が行き始めたのは、日本青年会議所に所属をしていた時、総理大臣が襲われないようにということで、セキュリティに関し公安の人達と青年会議所で打ち合わせをしました。私が青年会議所の責任者として出席しました。日本の総理大臣の警護について公安の人と意見交換をして現実におこなった。それが北方領土全国大会の最初に携わったことです。毎年警護について比較しています。前回行ったら、まあ甘くなっています。どこからでも襲えるという印象が今回もありました。中身はどんどん変わってきているという実感があります。

1 月 14 日の湯島聖堂の文化講演会にお出で戴きまして有難うございました。裏の話をしますと、どなたでも講演会に出席した時に初めて聞く話があれば若干満足します。今回の講演会ですが、最前列は学者の先生方がいる。その人達向けの話もしないといけない。経済界の方もいる。経済界は『言志四録』好きな人が多いです。佐藤一斎の玄孫の方もいる。佐藤一斎の血筋だけではなくて山田方谷の血筋の方もいる。あとの懇親会で何うと安井息軒の血筋の方もいた。先祖の話をどう話をするのか興味を持って、出席している。他に若い人は、佐藤一斎は知らない。さてそういう人達に向けて興味を持って話をしなければいけない。

前にも申し上げましたが、佐藤一斎は妖怪変化が好き。江戸でとれた大鯰の腹を裂いたら人骨や小判が出てきた話や、故郷の天瀑山で人を喰らう妖怪の驚がいるという話を書き残していますが、林述斎が学者は妖怪変化のようなものに興味をもってはいけないとルール化していましたが、いまの学者の人達はあまり気にしていない話でしたので興味を持ってくれました。あとの懇親会で経済界の人が挨拶をしました。性欲の話に興味を持ったようです。10 代 20 代は性欲をコントロールできない。30 代は頑張る時は頑張んなさいといったところに関心を持っていました。

佐藤一斎は何人子供作ったと思いますか？

男の子 3 人。女の子 10 人です。奥さんは 3 人です。最初の方は死別し、再婚したけれどすぐ別れました。

40 代は性欲についてはもう駄目だから、その時はよしなさい。60 代は愛人を囲い子供を作ってはいけない。親不孝子供不幸になると書いてあるという話を、経済界の人は興味があったとの事です。

佐藤一斎は 70 代については言っていないが、論語には「心の欲するところに従えども矩を踰えず」がある。80 代は「将らず迎えず応じて蔵せず」ものの考え方です。70 代「心の欲するところに従えども矩を踰えず」は、孔子の科白ですが、酒井さん流に意識をすると、心が欲するところに従えども意の通りにならず。目の色が変わり欲しても、そう体は動かない。意味は通じますよね。心の欲するところに従えて頑張ろうと思っても、いざ相まみえたらお役に立たないので、お話だけで、はいさようならという話を経済界の人にしました。男女ともにエネルギーが満タンになって、さあ動こうと動くときには異性に対する思いが溢れるぐらいになると、ビジネスにも学問に対しても何でもどんどん行く。

私は石川梅次郎先生から教わりました。当時「先生に男の色気がある」と言っていた二松学舎同期の女性がいた。あの時に聞いたのは「いくつぐらいまでその氣になったのですか？」と聞いたら「70 歳のころにその氣になったが、女房が何をいまさら」と言った。「こういうことは 70 代でもなるのですね」と話したら、「氣持ちはなったのだけれどね」と。

玄孫の深尾さんは佐藤一斎が若い時に学問で身を立てる、飯が食べられないで駕籠かきのアルバイトをしていたという話は知らなかった。ということで佐藤一斎のことをまるで知らない人でも、明治時代の指導者たちのお師匠さんだと紹介し、来ていただいた人たちにそれぞれ印象が残るように分散して話をした訳です。

毎朝、私は自転車に乗ります。この時期は空気を切り裂くようで、自転車に乗りながら深呼吸をしています。それを繰り返すと汗びっしょりになります。手がかじかんできますので、朝は手をこすって動かします。熱を帯びます。こういうことはテレビでよく流すでしょう。

私の母親が 80 代の時、夜寝ているときに背中の骨がぐしゃと潰れました。夜中に激痛が走って病院に行ったら、これは背中の骨がスカスカで重力に負けたということです。それ以来、猫背になりました。それでも普通には歩けてはいましたが、骨密度が減ってくると大変ですので、やはり自然と骨密度をあげる運動を身につけていたほうが良いでしょう。体に関する事で、今日何もしなかったと思ったら、深呼吸でも良いし、手をこするのでも良いし、骨密度体操でも良いと思います。簡単な健康法の話です。

脱線ついで、私の書いた本で、こんなことをいつていたのだなと思った事ですが、御参考にとつ。

山田方谷の本を出版社が再販するというので見直しました。普通本を見直したら、誤字脱字はあるのですが、そういうつもりで見直していたら、山田方谷の本の中でネバダレポ

ートの話をご紹介していました。前にネバダレポートの話をしました、覚えていませんか。ではもう一度話します。

平成 14 年 2 月国会でネバダレポートが質疑されたもので、日本が経済破綻をした時に、このネバダレポートが実行されるだろうという内容のものでした。今朝のテレビで日本の借金が一千百兆円を超したという言い方をしていましたが、日本が経済破綻を起こしたという想定の話です。

- ・公共事業の凍結
- ・公務員の給料 30%カット。ボーナスなし。退職金は全額認めない。
- ・年金は 3 割カット。
- ・消費税は 20%。
- ・年収が 100 万円の人でも税金の徴収を始める。
- ・資産税を導入する。
- ・銀行に預けている預金は一律 3 割没収。

こういうものが国会で発表されました。その時に書いたものが、もう一つ。60 年ぐらい前に同じような事があった。私は国会図書館に行って昭和 21 年 2 月 17 日の新聞を調べたのですが、朝日・読売・毎日・東京・日経の五紙が出していた。60 数年前の日本で起こったことを書いていました。

1 月は天皇が人間宣言。2 月 1 日は農地改革実施。農地改革を実施したことによって私の印象は強盗慶太とピストル堤が印象に残っています。これは農地改革によって新興成金になって申し上った。

2 月 3 日はマッカーサーが日本憲法の草案作成を指示して 10 日に完成しています。

2 月 17 日金融緊急措置令が出た。お金を金融機関に預けなさいという命令で、預けさせられたら下ろせない。下ろすのは 500 円まで。新円の切り替えがあったから、新しいお札は使えて、今まで使っていたお札は使えなくなった。次は食料緊急措置令が出た。食べ物なくなった。

3 月は都会地転入緊急抑制措置令が公布。新聞の解説では食糧事情が悪化したために地方から都会に来てはならないという命令です。都会に人が集まると都会の人の食べ物がなくなるから、来てはならんということです。4 月 7 日こういうことに対してデモが起こる。デモ隊がかなり騒ぐから、警察がデモ隊に対して発砲する。力づくで抑えた。細かいのを読みます。5 月天皇陛下が食料事情悪化で玉音放送を流し、国民に協力を求めた。上野のアメ横に米軍の横流し品が出回り、それを没収するために警官 300 人が出動しトラック 16 台分の物資を抑えた。その際、警官が発砲する騒動になったのが 5 月 30 日の記事です。

今回 10 連休がありますね。この頃も国民に同じように 10 連休を出していました。6 月 6 日農林省が国民に食料休暇を発表。食べ物がないので 1 か月間に 10 日間の休暇を与えるから自分で自給のために食料を集めても良い。10 日間の食料休暇を与えた。

7 月国鉄が人員解雇。第一次が 7 万 5 千人。第二次が 5 万 2 千人の人員解雇を通達したの

で労働争議が起こった。

9月には三井・三菱・安田に解散命令が出た。その後は10月12日に子供たちの持っている教科書を墨で塗らせた。

12月には吉田内閣打倒で皇居前に50万人が集まった。60数年前に起きたことが、また起きる可能性がある。日本が経済破綻をしたら、こういうことが起こるだろうという近未来の話をしている。山田方谷のことを書いた『陽明学のすすめⅢ』に、こういうことを調べて書いていたなということ思い出しました。

### 《恒例の質問》

この間の北関東フォーラムで恒例の質問が抜けていますといわれた。恒例の質問をします。

・今年に入ってから良い日が続いている方は？

くれぐれも主観です。

・比較的嘘はつかなかった。どうでしょう？

・有難うと言いや有難うと言われた方？

・今年自分磨きをやっている方？

猪瀬さんが首を傾げた。いつも自分磨きをしている人なのね。

・昨晚寝るときに明日のこと、または明日以降のことを過去形でイメージして寝た方。

財布をもう一つ持つとよいのではないのでしょうか。最近そう思います。財布は三つ持つと良い気がします。小銭入れとお札入れ、貯金箱でもよいし、別にお金を入れるものを作ったほうが、明日のことをイメージする人は第三の財布を持つと良いように思います。第三の財布を持つとこちらに貯まりますよ。この間気がついたのですが、赤城の書齋に貯金箱が置いてあって、こんなところに置いてあるのかと思って取ったら、けっこう小銭が入っていました。私の本棚にも3つあったな。余分なことです。私はダルマ弁当を食べるのですが、食べたら貯金箱になるのです。そこに入れる癖があります。聖橋の事務所にもある。明日のことを過去形でイメージをするのを自然にしていると、第三の財布を作っておくと無意識のうちに貯まる。そういう自己暗示をかけてください。そうすると自然に貯まる。

郡山茶話会で聞かれたのですが、どうしたら人が増えますかと。

明治神宮で吟じた時、たまたま大東塾の塾長がいました。若い人2~30人を連れて吟ずるので、何故そんな若い人が集まるのか不思議でしたので聞きました。「どうやって若い人

を集めたのですか」と。そしたら「いや集めたわけではないです」と言います。「では、どういうきっかけで集まったのですか」と聞きましたら、トランプさんと同じで、つぶやいているのです。そしたら何となく集まってきたのですね。それだけではないでしょうけれど SNS の活用です。それを郡山茶話会で話したら、半年間ぐらいやってみて役に立つようでしたら、こちらでもやってみましょうか。

### 《論語の視点》 衛霊公第十五 34～36

先ほど酒井さんが話してくれたので良いなと思う。事前の話で楽しいなということを、普通の科白でご紹介します。

【三四】子曰く、民の仁に於けるや、水火よりも甚だし。水火は吾 踏みて死する者を見る。未だ仁を踏みて死する者を見ざるなり。

【三五】子曰く、仁に当りては師に譲らず。

【三六】子曰く、君子は貞にして、諒ならず。

説明するときに韓国がよいかと思った。各国のいろいろな話は「諒」である。小さな信義。小さな約束。日本がごたごた言ったって気にすることはないよ。韓国にとって一番大事なことは国民の考え方、国民が私を支持するかどうか。もう少し腹の中をいえば韓国と北朝鮮が一緒になったら私はしかるべきポストに迎えられると現大統領は腹の中で思っている。北朝鮮が上に座る。韓国が 2 番目に座る。韓国と北朝鮮の関係のほうが大きな約束事。日本のことは小さな事。ここをそう読めば韓国の大統領からすると他の国との約束事は北朝鮮の約束事が「貞」、正しいことのでがっちり守らなければいけない。しかし日本とのものは「諒」小さな信義だから、小さいもの、小さな局地的な正しさは守らなくてもよいと取ればよい。

先ほど酒井さんは形にして表せといいましたが、「仁に当たりては師に譲らず」仁を実行する場合は師匠が何と言おうとも気にしない。これは意識ですが、これは行動せよということです。行きたいと思ったら、口先だけでは駄目です。ちゃんと会費を払っていくのです。

「子曰く、民の仁に於けるや、水火よりも甚だし」孔子が言うには、国民にとって、仁は必要欠くべからざるものであろう。溺れ死んだり、火事で焼け死んだりと水火は起きうるけれども、「未だ仁を踏みて死する者を見ざるなり」仁を守って、それで死んでしまう。そんなことは見たことがないということで、かなり具体的なこと言っている。

## 《今日のテーマ》

### 「何故、自分はこの世に生を受けたか」

そこに向かっての話で、今回の紹介書籍に書かれています。

先ほど酒井さんに聞かれて、相手によってまるで言葉が違ってきますので、そこらへんが楽しいですね。それで誰に向かって話したのだろうということを考えると、言葉がやっぱり変わってくる。畑中さんが顔を出すと、天風先生の話をしたくなるし、やっぱり相手によります。

## 《紹介書籍》

『「悟り」の意味』島田明德著 地湧社

最近、天風先生に関しては、野球選手が中村天風先生の名前を出したりして、少し日が当たったような気がします。ただ本屋に行くと、天風先生のコーナーが少し小さくなってきていて、安岡正篤先生も同じく小さくなっている。どうも何か、価値観や基準が変わったなという気がしてしょうがない。でも、やっぱり良いものは良いです。

誰だって人間とは何だろう、自分とは何者だろうとか、そういう疑問から始まって考えるが、ものを詰めていけば、その本の中では、最終的には、自分の心の中に眠っている力に気がつくとき、自分の心の中に眠っている力に気がつく。そういう体験をした人いませんか。こんな凄い力があつたが自分で気がつかない。ちょっと言い方を変えまして、全部ほうり投げてしまう。もうこれ以上何も打つ手がない、もうどうにでもなれみたいな感じになった時って、意外と力が湧きます。私はもう何にも打つ手がなくなってどうにもならない。どうにでもせいと思ったら、地の底から力が湧いてくるという実感、体験をしたことがあります。

困ったときに教わる人がいなければ、はっとするヒントが書いてある本を読むことです。1冊あれば良いです。その次に、小さい鐘でなくてもよいのですが、ずっとこうしている(手をくっつかない程度に合わせる)だけで、心の中のさざ波が落ち着いてきます。この考え方は天風先生にもあります。湖面に石を投げて、波紋がずっと広がってく。波紋が広がっているものを目でみて追いかけている。そういうほんの僅かな時間を使って、心を穏やかにし、からっぽに、からっぽに、とやってみると、どういうわけだか、自分の疑問点に対してどういう解決策を持てばいいか自然とでます。それで尚且つ、これは体験談です。どうにも困ったなつてものがあつたときの解決策。最近はやらなくなりましたが、寝るときに体中の力を全部抜いて「さあ困ったことが起きた。もう私は寝るから、脳みそ君、良い知恵を出しておくれ」と、口に出して言います。潜在意識の活用といいます。不思議なことに翌朝起きた時、解決策は大体7割～8割の確率で頭に浮かんでいます。人によっては2割か3割かもしれないけれども。何も出ないというのはありません。ただ自分の脳みそを

信じていない場合は別です。

良いが出ない場合は、まだもうちょっとやり方があって、心臓が夜中止まるかな？いや止まらない。夜中に呼吸が止まるかな？いや止まらないなど、自問自答する場合、脳みそ君、夜中じゅうやっぱり働くだらうな。そうすると、心臓が動くのは信用できるし、呼吸も信用できるから、脳みそも動くのは当然信用できる。そう決めて、脳みそ君、頼むよとやって寝ます。悟りというのは、どうもそういう所と繋がっている。

今日のテーマ「何故、自分はこの世に生を受けたか」は、自分の心の奥深くに眠っている力を信じられるかどうか。今のは阿頼耶識の話です。当然、阿頼耶識の話になると、天風先生が登場ということになる。天風先生流に言うと、トラブル忘れちまえ。病にとりつかれた。どうにも治らん。それは忘れちまえ。で、忘れ方が色々あるわけです。忘れ方はその人の体験によってまるで違う。具体的な体験談に関しては、猪瀬さんが体験談を話す事ができるので、そのうち振ります。

「悟り」は、自分の心の中に眠っているものを信ずること。天風先生は、トラブルがあったら忘れること。病を治すためには忘れること。トラブルを直すには、そのトラブル自体を忘れる事という話です。これは抽象論ではピンとこないから、具体的な話が良いと思います。

## 《時事評論》

時事評論に関しては、基本哲学で「足るを知る」という言葉。これを判断基準として、見ていけばいいと考えます。

さてそうすると、追っかけている部分で、ゴーン事件があります。ゴーン事件の話題は少なくなりましたね。2月7・8・9日の3紙に出ています。2月7日は同じネタを何度も使っています。ルノーは企業が芸術文化を支援するメセナ契約をベルサイユ宮殿とルノーは結んでいた。その契約の中に、ルノーが宮殿の修復費用を一部負担する代わりに、ゴーンが奥さんとの結婚披露宴を開くサービスを受けられる約束があった。その費用は日本円で約620万ということです。ゴーン事件の話がでた時すぐ広がりました。フランス政府は認めなかった話です。ところがネットニュースで、フランスの司法当局と日本の司法当局が手を結び、お互いに情報交換をするという動きになった。私は司法当局が手を結んだという新聞記事は見えていないのですが、ネットニュースで出ています。新聞にも書いてあるかな、でも新聞はそういう表現はしてないと思います。そういう表現はしないから、色々なものを見ていく必要がある。ゴーンの弁護士が、資金流用は誤解であると小さい記事で出ています。でも読者は新聞を見たときに、目が行くのは大きい記事です。ということは、ちょっと書いておかなきゃいけない。それで小さく出した。ゴーン事件が小さくなってきていますけれど、今の流れは表面に何も出なくなってきました。

今の私の見方は、ゴーンの税金の視点でみています。フランス国民から見ると、ルノーの会長ゴーンは当然税金をフランスに払っていると思っていたら、フランスより税率の低いオランダに居住地をおいているのでオランダに税金を払っている。ところが最近、オランダで受けていた税金の優遇措置が切れるので、今度はスイスに移そうとしているという記事がフランスの中に出てきた。ゴーンはフランスではなく、今までオランダに税金を払っていて、オランダも期限切れだから今度はスイスに移そうとしている。けしからんという話が少しずつでてきた。これの根っこは、日本・アメリカ連合対フランスの経済戦争で始まった。それに対して、イギリスがタックスヘイブンでやられちゃいけないということで、イギリスが日本・アメリカ連合にちょっと寄ってきた。ご存じのように、パナマ文書でタックスヘイブンが表面化しました。タックスヘイブンは、イギリスの植民地から始まっているわけだから、叩かれるとイギリスは困るわけです。ヨーロッパ辺の国々は 183 日ルールでやっています。183 日以上住んでいると税金が発生する。ゴーンがあちこちの国を転々と動くということは、183 日以上どこかに留まっていると、そこに金を払わなきゃいけなくなる。なるべく安い国でお金を払うようにしようということで移動しているわけです。ところが、日本はどこで稼いでいるかによって、税金を取る。日本で虚偽記載をやっているのは、虚偽記載をしなければ、税金が日本に取られる。高い税金を払わなければいけない。今回、日本が虚偽記載を立証して、日本が一番稼いでいるとなれば税金が跳ね上がる。日本から脱税、重加算税、それから延滞税がでるでしょう。ゴーンは破産状態になるぐらい取られるという見込みだから、虚偽記載は何としても阻止したい。ゴーンの弁護士もその方面で手を打っていると思います。

日本とアメリカ連合対各国という動きがある。そうすると、フランスもアメリカも根っここの部分は同じで、雇用対策や失業者対策、工場の誘致である。工場の誘致で見ると、中国の色目の使い方は、かなりあります。中国から見れば、ゴーンは電気自動車の父でしたっけ。そんな言い方で呼びたいと言っている。イギリスは日産が最大の工場ということだから、工場の誘致合戦に各国が見えないところで戦っているように見えます。それぞれの国の思惑が水面下でぶつかり合っている。それに税金が絡まっている。それを煽ったり、水かけたりしてメディアが稼いでいる。そのように今回は見えます。

他にも気になるのがありました。今の日本の国の中で、見えないところで、どんどん広がっている。今日の新聞で困ったなと思うのは、「塀の中のおばあさん」というのがありました。70代、80代が刑務所に入る。これの理由は何か。塀の中のおばあさんたちは、ここに来ると私のことを気にしてくれる人たちがいる。シャバでは自分のことを見てくれないが、刑務所の中に入ると介護してくれるし、話しかけてくれる。「大丈夫かい」と言ってくれる。だから刑務所に戻りたい。おかしい国です。



北方領土の話が始まりだしたら止まらないので言いませんが、私は北方領土返還要求全国大会に行ってきましたけれども、まあ及び腰になったこと。北方領土が具体的な話になった瞬間に過激なことは言わないように、口にチャックしている。まあ酷い。特に腹が立ったのは、いろいろな訴えをする人が、いっぱい居たにも関わらず「国会議員の皆様方は只今国会期間中でございます」と言って、昼休みの時間帯にサッと来て、一瞬の間に安倍さんが喋る。喋り終わったら「国会開会中ですので安倍総理はお帰りになられます」と、来て数分でパッと帰った。他の人たちも同じようにパッと帰った。何なんだと思って見ておりました。これでは外国に対して弱いですね。

それからオリンピックの話で、これもふざけている。何でこの国はふざけているなっ  
てことが多いのだろうと思うが、首都高速で1日の平均交通量は110万台。通行料金は最大で1300円か。これは渋滞が見込まれるから、昼間は値段を上げましょう。夜は割引料金にしましょう。高く金を取ると首都高速乗らないだろうから、渋滞が緩和される。中国の場合は命令で「乗るな」ですが、日本はお金で調整しようとしている。ふざけるなという気がしました。

最後に、読売新聞(2/9)「実質賃金「参考値」示さず」統計調査は酷いなあとと思うけども、実際に調査をしている所にお金は出さない、時間は出さない、人は出さない。それで調査きちんとせいと言われる人たちは可哀そうではない。でも出てきたものにまた捏造を加えるから、訳の分からない奇妙キテレツな、鶴が作ったような勤労調査になっちゃいました。

日本の国は変な国になったな。我々は、変な国民にならないように努力をいたしましょう。

これ(笛)見せようと思ひまして、(笛を吹く)サイレントタイム用です。これから、とんでもないことが起きる。大地震で自分が埋められてしまう。助けてって言えない。ふっと息出ただけで人がいることに気づいてもらう。そのときに、生き延びる可能性ということで、自給自足の他に、自分の命を守る方法。あとはポケットにチョコレートを入れます。水と簡単な食べ物。これも竹岡さんが書いた中にありました。ということで、御自分の命を守るために御努力を。以上です。有難うございました。

## 《質問コーナー》

竹岡会員一過去形の話でイメージするのは分かるのですが、それがどうしてお金が貯まるというのに繋がるのが分からない。貯金箱の話どうしても分からないのですが。

あれはお金が貯まるというのは分かりやすいから話しているだけです。自分が幸せだと思えばよいのです。貯金箱は具体的におやんなさいということだけのことです。貯金箱を置いたら、入れようという気持ち、入れたというチャリーンとしたイメージが過去形で見える。無意識にタネを植え付ける。ぱっとお金をみて潜在的に入れる。前の日に前の前の日に植え付けておいた潜在意識が動いて入れる。

竹岡会員ーその日のうちに余ったお金はそこに入れるのだと自分で律するのですね。

自己暗示するわけです。